

島根県 コロナ「第8波に近い」と注意喚起 丸山知事「医療ひっ迫を招かないようにしないと…」

7/28 日本海テレビ



新型コロナの感染者が増加傾向にあるとして、島根県の丸山知事は7月28日の会見で“去年の第8波に近い状況にある”と注意を呼びかけた。

丸山知事

「感染拡大の局面にあるということで、それが医療ひっ迫を招かないようにしないとイケないというのが島根県の立ち位置」

島根県では今月に入り、新型コロナの感染者が増加していて、県内38の医療機関を対象にした「定点把握」では7月23日までの1週間に10,68人が確認された。定点把握の発表が始まった5月以降で最も多く、1日平均およそ450人の感染が確認されていた去年11月下旬の第8波と同じ水準にあるという。

また、多くの病院から医療従事者の欠勤や診療制限が生じたケースなどが報告されていて、丸山知事は、今後の医療ひっ迫の可能性もあるとして強い懸念を示していた。

こうしたなか、「第9波」に入ったかという記者の質問に対しては…

丸山知事

「9波かどうかと質問すること自体が思考回路が古い。(国が)感染者数の多さ自体を気にしないと風になっているわけだから感染者数を“波”といっても意味がない。医療

ひっ迫しているかどうかでも感染者は増えているので9波といえば9波」

丸山知事は熱中症に注意したうえで、発症後10日間のマスク着用や換気の徹底など、感染対策を呼び掛けていた。

